

産地生産基盤パワーアップ事業 取組事例

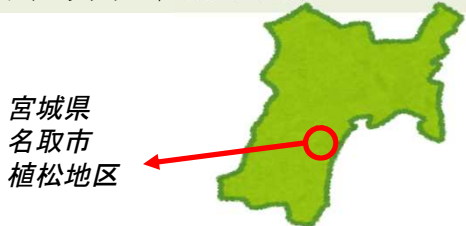
宮城県

成果目標	市町村名	地区名	品目名	掲載番号
生産コスト 10%以上削減	名取市	植松地区	水稲、大豆	1
	丸森町	伊手地区	水稲	2
	仙台市	井土地区	水稲	3
販売額10% 以上増加	角田市	隈東地区	ねぎ、ブロッコリー	4
	川崎町	川崎地区	ブロッコリー	5
	美里町、大崎市、涌谷町	美里町、大崎市（鹿島台、松山、田尻）、涌谷町地区	青ねぎ	6
	大崎市	鳴子温泉地区	そば	7

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:名取市水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : 水稲及び大豆の低コスト生産の推進
 計画作成主体 : 名取市水田農業推進協議会
 対象品目 : 水稲・大豆(産地面積164ha)
 (水稲129ha・大豆35ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人U. M. A. S. I.
 成果目標 : 生産コスト10%以上の削減
 助成金の活用状況 :
 整備事業(乾燥調製施設, 共同育苗施設)
 生産支援事業(トラクター, コンバイン)

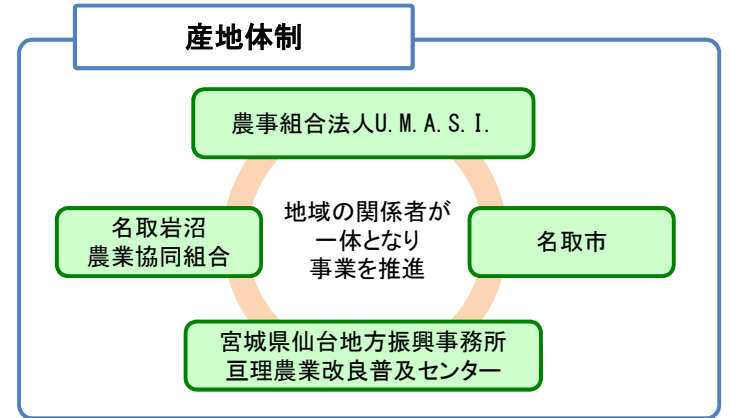


宮城県
名取市
植松地区

ポイント

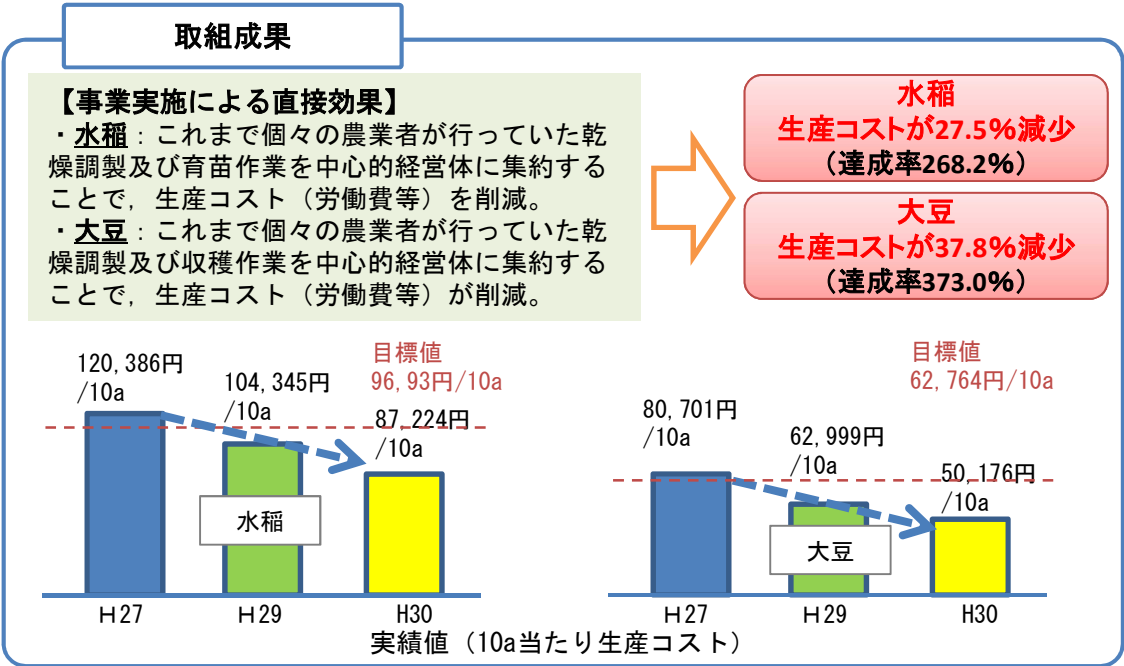
【産地の課題及び取組方向】
 乾燥調製施設や水稲育苗施設の複合施設として整備を行い, 経営規模に応じた機械を導入することで, 植松地区の農地集積を推進する。併せて機械利用の共有化やその機械の維持管理を組織が一手に担うことにより, 作業率の向上に繋げコストを抑えることが可能となり, 産地としての生産コストの10%以上の削減を実現する。

【産地の体質強化に向けた方策】
 地域の水稲・大豆の生産コストを削減するため, 中心的経営体が乾燥調製施設, 共同育苗施設及び大型農業機械を一体的に整備・導入し, 地域内の施設・機械の集約化を推進。



地域における独自の取組

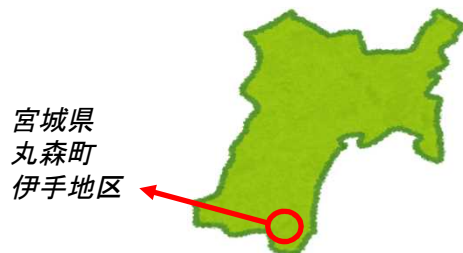
〈主な取組〉
 中心的経営体への農地集積や乾燥調製, 育苗, 収穫作業の委託を推進。



産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28~29年度:丸森町水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : 水稲の低コスト生産の推進
 計画作成主体 : 丸森町水田農業推進協議会
 対象品目 : 水稲(産地面積30ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人 伊手ファーム
 成果目標 : 水稲の生産コスト10%以上の削減
 助成金の活用状況 : 生産支援事業(乾燥調製機械等)



ポイント

【産地の課題及び取組方向】

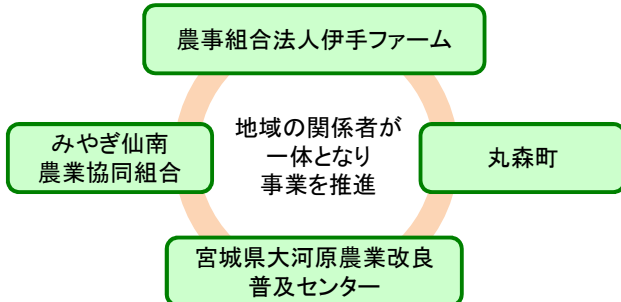
集落営農組織へ農地集約を図るとともに、乾燥調製作業等の機械作業の集約化、疎植栽培の導入を行うことにより、産地としての水稲の生産コストの10%以上の削減を実現する。



【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 集落営農組織への土地集積
- ② 中心的経営体による乾燥調製作業及び機械作業の集約化
- ③ 疎植栽培の導入

産地体制



地域における独自の取組

〈主な取組〉

集落営農組織へ農地集約, 疎植栽培の導入。

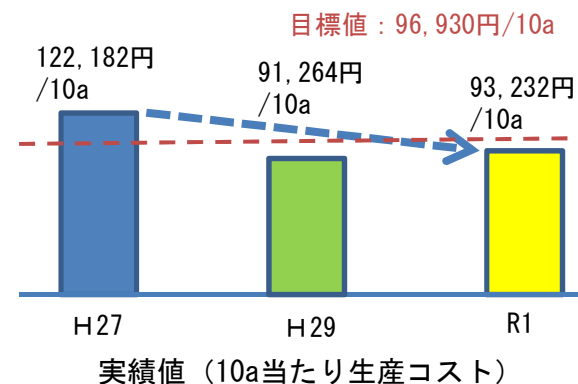
取組成果

【事業実施による直接効果】

・水稲について、乾燥調製機械等を導入することにより、直接労働費や農機具費等の生産コストが削減。




**生産コストが
23.7%減少
(達成率114.6%)**



産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:仙台市農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : 水稻の低コスト生産の推進
 計画作成主体 : 仙台市農業推進協議会
 対象品目 : 水稻(産地面積 51.8ha)
 主な取組主体 : 農事組合法人 井土生産組合
 成果目標 : 生産コスト10%以上の削減
 助成金の活用状況 : 生産支援事業(パワーハロー等)

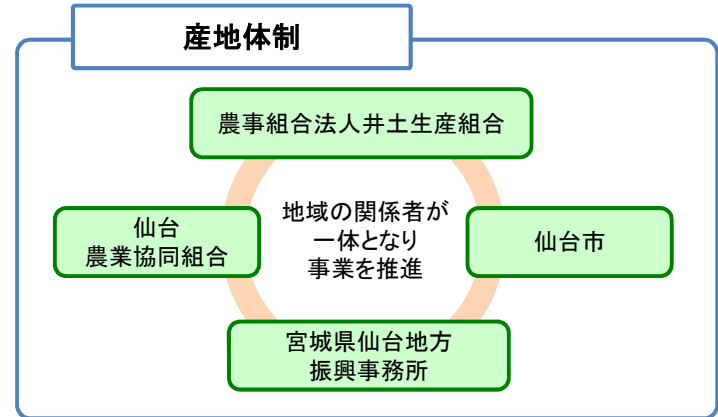


宮城県
仙台市
井土地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 水稻の栽培について、先進的な取組である乾田直播栽培への切り替えを行い、育苗作業に係る労働費や燃料費の削減を図る。また、乾田直播面積の拡大に併せて薬剤費等の見直しもを行い、地域一丸となってコスト削減に向けた取組を推進する。

【産地の体質強化に向けた方策】
 地域の水稲・大豆の生産コストを削減するため、中心的経営体が乾燥調製施設、共同育苗施設及び大型農業機械を一体的に整備・導入し、地域内の施設・機械の集約化を推進。



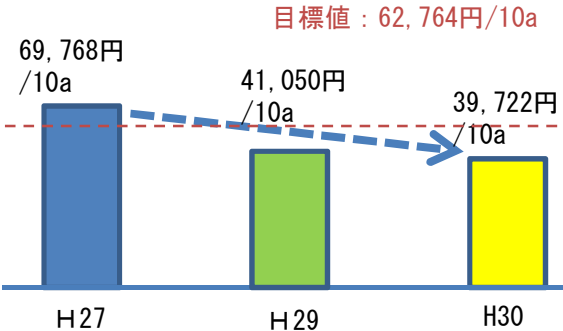
地域における独自の取組

〈主な取組〉
 乾田直播の面積拡大に伴う高性能作業機械の導入によって生産コスト10%以上の削減を実現。

取組成果


【事業実施による直接効果】
 ・水稻について、高性能作業機械の導入により乾田直播の面積が拡大し生産コストの削減が実現。

生産コストが 43.1%減少 (達成率429.0%)



年度	実績 (10aあたり生産コスト)
H27	69,768円/10a
H29	41,050円/10a
H30	39,722円/10a


目標値 : 62,764円/10a



産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:角田市水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要


取組の概要：
 土地利用型露地野菜産地の形成の推進
 計画作成主体：角田市水田農業推進協議会
 対象品目：
 ねぎ・ブロッコリー（産地面積13.5ha）
 主な取組主体：農事組合法人館島田生産組合
 成果目標：
 ねぎ・ブロッコリーの販売額10%以上の増加
 助成金の活用状況：
 生産支援事業（長ねぎ皮剥き機）



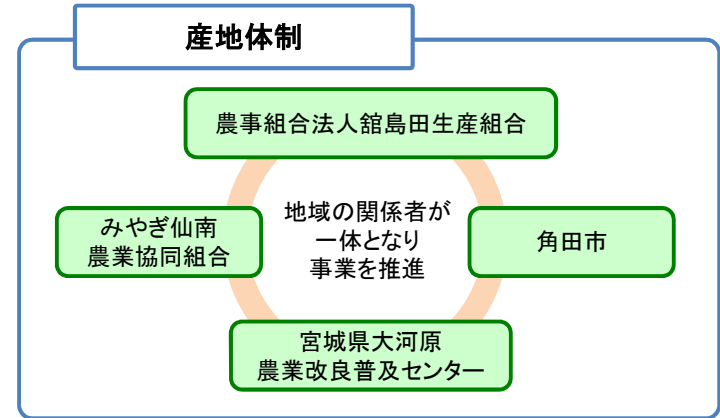
宮城県
角田市
隈東地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 水田農業から土地利用型露地野菜生産（ねぎ・ブロッコリー）への誘導、収益性向上を図るため省力化機械化体系を含めた栽培計画の作成するなどし、地域全体の所得の向上を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】
 生産拡大に伴う高性能機械（皮剥き機）の導入、機械の共同利用により、土地利用型露地野菜の作付面積を拡大することによって販売額10%以上の増加を実現。



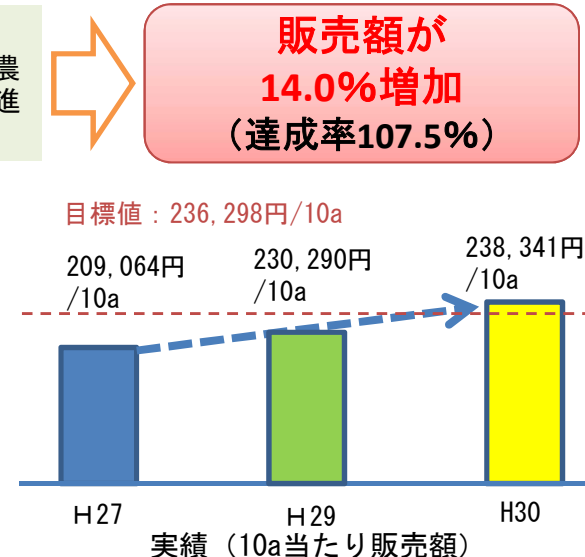
地域における独自の取組

〈主な取組〉

機械の共同利用を推進し、水田転作により面積拡大、生産拡大、定着に必要な生産技術の習得を図るための検討会の実施。

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・省力化機械化体系の整備による水田農業から土地利用型露地野菜への転換推進によって販売額の増加が実現。




販売額が
14.0%増加
(達成率107.5%)

目標値：236,298円/10a

209,064円/10a 230,290円/10a 238,341円/10a

H27 H29 H30

実績（10a当たり販売額）



産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:川崎町地域水田農業推進協議会)(宮城県)

取組の概要


取組の概要 : 露地野菜産地の形成の推進
 計画作成主体 : 川崎町地域水田農業推進協議会
 対象品目 : ブロッコリー(産地面積1.69ha)
 主な取組主体 :
 みやぎ仙南農業協同組合川崎園芸振興普及会
 成果目標 : ブロッコリーの販売額10%以上の増加
 助成金の活用状況 :
 生産支援事業(畝立て同時マルチ機)



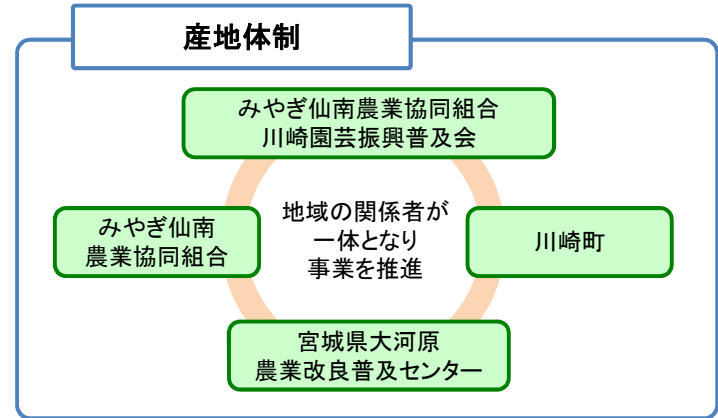
宮城県
川崎町
川崎地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 畝立て同時マルチ機械の導入により春収穫用ブロッコリーの作付面積が拡充されることにより、農家の所得向上を図る。



【産地の体質強化に向けた方策】
 畝立て同時マルチ機械を導入することにより、遊休農地を活用して規模拡大が図られ、販売額10%以上を実現




地域における独自の取組

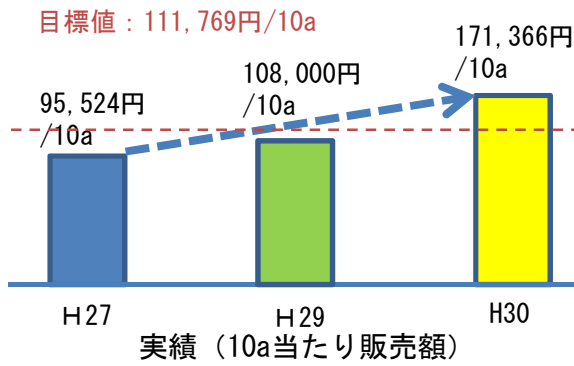
〈主な取組〉
 遊休農地の利用促進による作付面積増加の取組

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・水稲について、高性能作業機械の導入により乾田直播の面積が拡大し生産コストの削減が実現。



販売額が
79.4%増加
 (達成率466.9%)



目標値 : 111,769円/10a

実績 (10aあたり販売額)

年度	販売額 (円/10a)
H27	95,524
H29	108,000
H30	171,366

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:美里地域農業再生協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : 露地野菜産地の形成の推進
 計画作成主体 : 美里地域農業再生協議会
 対象品目 : 青ねぎ(産地面積:10ha)
 主な取組主体 : みどりの農業協同組合
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加
 助成金の活用状況 : 整備事業(集出荷貯蔵施設)

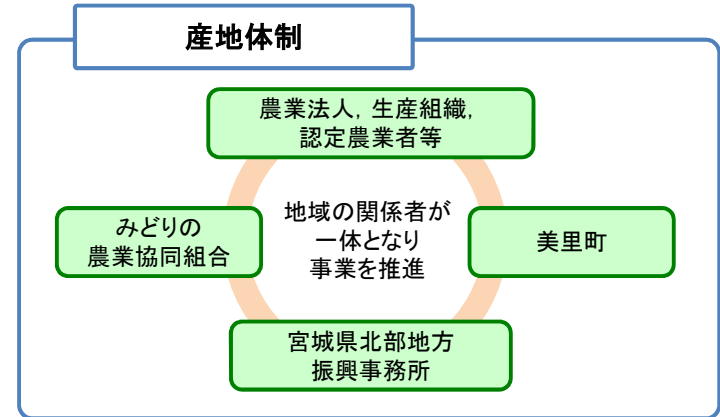


宮城県
 美里町・大崎市(鹿島台・松山・田尻)、
 涌谷町地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 当産地の青ねぎ生産について、これまでは限られた集出荷施設の作業スペースと作業機械台数の制約が、生産規模の拡大と適期収穫の妨げとなり、安定した収量及び品質の確保が困難となっていた。集出荷施設と作業機械及び貯蔵施設の整備により、適期収穫と品質を保持したままの一時保存が可能となり、収穫量の増加及び品質の向上が図られ、併せて販売額10%以上の増加を実現する。さらには、産地の規模を活かした市場への安定供給により、有利販売を促進する。


【産地の体質強化に向けた方策】
 作付面積拡大及び品質保持に対応した集出荷貯蔵施設の整備により、収穫量の増加及び品質が向上することによって販売額10%以上の増加を実現。



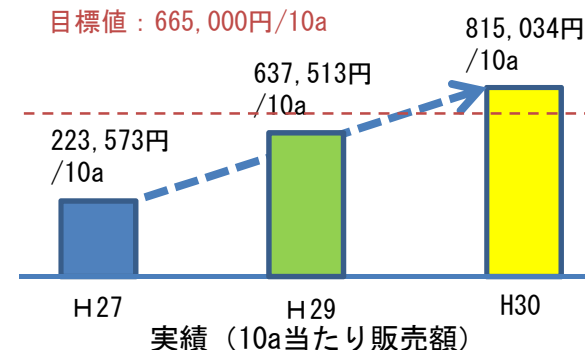
- ### 地域における独自の取組
- 〈主な取組〉
- ・面積拡大に向けた機械作業体系の確立
 - ・施肥診断の活用と防除徹底による収量・品質の向上
 - ・生産量拡大による取引先への安定供給
 - ・J Aが移植・調製選別作業を受託

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・作付面積拡大及び品質保持に対応した集出荷貯蔵施設の整備により収穫量の増加及び品質が向上することによって販売額の増加が実現



販売額が264.5%増加(達成率134.0%)



年度	実績 (10aあたり販売額)
H27	223,573円/10a
H29	637,513円/10a
H30	815,034円/10a


目標値 : 665,000円/10a

実績 (10aあたり販売額)

産地生産基盤パワーアップ事業の取組事例(平成28年度:大崎市農業再生協議会)(宮城県)

取組の概要

取組の概要 : そばの産地形成の推進
 計画作成主体 : 大崎市農業再生協議会
 対象品目 : そば(産地面積59.6ha)
 主な取組主体 : 株式会社スマイルフィールド
 成果目標 : そばの販売額10%以上の増加
 助成金の活用状況 : 生産支援事業(低温貯蔵庫)

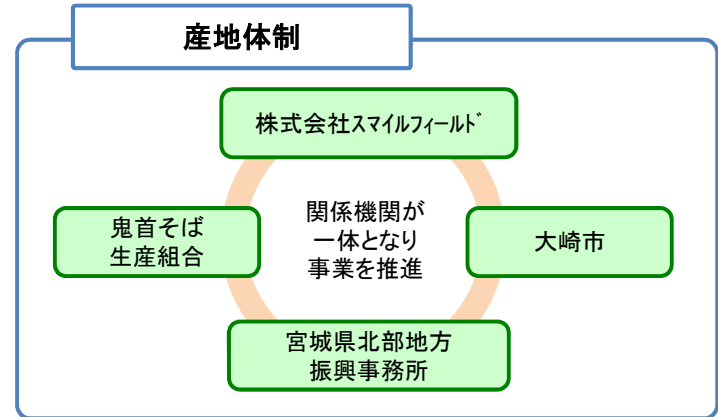


宮城県
大崎市
鳴子温泉地区

ポイント

【産地の課題及び取組方向】
 そばについて「備蓄設備(低温貯蔵庫)導入」により、①品質・量の安定供給→②そばの産地として評価される→③産地としてのブランド化(信頼)→④生産意欲の向上(生産性向上)の好循環を生み出す。

【産地の体質強化に向けた方策】
 高品質なそばを安定的に供給するために必要なそば低温貯蔵庫を導入することによって、販売額の10%以上の増加を実現。




地域における独自の取組

〈主な取組〉

- 栽培マニュアルの公開(産地内限定)及び研修会を開催。
- 鳴子温泉郷を訪れるお客様等に、地元産そばにこだわったメニューで、おもてなしが出来る「蕎麦カフェ」事業を展開

取組成果

【事業実施による直接効果】
 ・低温貯蔵庫を導入することにより高品質なそばを安定的に供給し、販売額の増加を実現。更に新規事業として「蕎麦カフェ」をオープンすることで、産地としての認知度を高め、更なるブランド化を図る。



販売額が24.3%増加(達成率121.2%)

年度	実績(10aあたり販売額)
H27	3,372円/10a
H29	2,332円/10a
H30	4,190円/10a

目標値 : 4,047円/10a